

# あいち農産物生産流通レポート

令和3年1月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ナシモザイク症の病原ウイルス(新種)の簡易検出法を開発 (農業総合試験場)	1
・ 「アグロ・イノベーション2020」等が開催されました (東京事務所)	3
◎ 地域トピックス	
・ 産地の維持を。奥三河高原シクラメン組合の活動について (新城設楽農林水産事務所)	4
◎ 東日本情報	
・ キャベツの競合産地の状況 (東京事務所)	5
◎ 西日本情報	
・ 2019年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向 (食育消費流通課)	7
◎ フラワーページ	
・ 「あいち花マルシェ2020メインステージ」を開催しました! (園芸農産課)	8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し	12
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)	24

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400



## ナシモザイク症の病原ウイルス（新種）の簡易検出法を開発

農業総合試験場

全国のナシの産地で、葉の色素がモザイク状又は斑点状に抜ける症状（以下、モザイク症状）を特徴とする病害が拡大しています。症状が酷くなると葉や茎が壊死（えし）し、早期落葉するため減収の大きな要因となります。

本病害の原因は長らく不明でした。しかし、2018年に農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構）が、発症したナシの葉から新種のウイルスである「ナシ葉退緑斑点随伴ウイルス（仮称、以下、PCLSaV）」を発見し、さらに PCLSaV の全ゲノム配列情報を解析し、原因解明が急速に進みつつあります。

愛知県では、農研機構と2018年から共同研究を開始し、発症したナシから迅速かつ簡易に PCLSaV を検出するため、PCLSaV の全ゲノム配列情報を活用した遺伝子診断法の開発に取り組みました。



モザイク症状の葉



新梢の壊死



茎の黒変

## 1 LAMP 法による PCLSaV 検出技術の開発

一般的な遺伝子診断法の PCR 法ではウイルスを検出するために、ウイルスを抽出・精製しなければなりません。しかし、ナシの葉は多糖類を多く含み、これを取り除くために多くの時間と労力が必要です。そこで、ウイルス抽出が不要な遺伝子診断法である LAMP 法を用いた PCLSaV 検出技術を開発しました。

PCLSaV は 5 分節の RNA を持っています。各分節ごとに PCLSaV に特有の領域を選別し、それぞれ 1 セットまたは 2 セットの LAMP プライマーを設計しました。プライマーとは、人工的に合成した塩基配列であり、対象とする遺伝子に結合して特異的な反応を示します。モザイク症状のナシの葉や健全なナシの葉、PCLSaV と類縁のウイルスに罹病した植物の葉等を用いて LAMP 反応の特性を調査したところ、モザイク症状のナシの葉だけに早く反応する LAMP プライマーを得ることができました。このプライマーを用いて、反応温度 63℃ で、PCLSaV を約 20 分以内に検出することができました。

## 2 全国 12 県のモザイク症状の葉での検出

秋田県から熊本県までの全国 12 県から採取されたニホンナシ 13 品種のモザイク症状の葉を用いて、LAMP 法による PCLSaV 検出技術の有効性を検証しました (図 1)。PCLSaV の検出結果には地域間差や品種間差はありませんでした。また、LAMP 法は PCR 法と同等以上の精度で PCLSaV を検出できることがわかりました (図 2)。

さらに、注射針で葉を突き、針の先端に付着した汁液からでも十分な精度を維持しながら LAMP 法で PCLSaV を検出できました。ウイルス抽出を省いたこの方法は、多くの検体数にも対応可能で、簡易な検出法として活用できます。

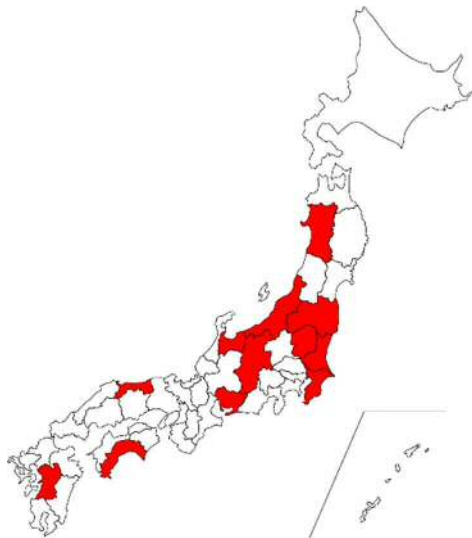


図 1 モザイク症状のナシ葉の採取地域



LAMP 法による陽性判定の一例

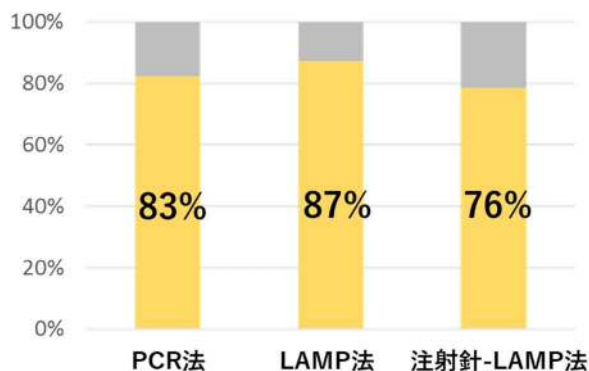


図 2 PCLSaV 陽性率の比較



注射針によるウイルス試料の採取

## 3 おわりに

本検出法は、発症したナシの葉から注射針を使ってウイルスを採取・検出するため、簡易かつ有効な検出法であり、高価な PCR 機器等を使わないため経済性に優れます。さらに、本検出法は、ニホンナシだけでなくセイヨウナシでも PCLSaV を検出できることが確認されています。PCLSaV の発生のメカニズムや生態等を解明し効果的な防除対策を構築するために、本検出法の活用が期待されます。

## 「アグロ・イノベーション 2020」等が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

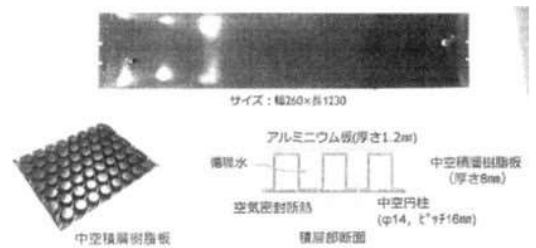
令和2年11月11日（水）から13日（金）にかけて、「アグロ・イノベーション 2020」（主催：一般社団法人日本能率協会）をはじめ、5つの展示会が東京ビッグサイト青海展示場（東京都江東区）で開催されましたので、概要を紹介します。

### 1 アグロ・イノベーション等と出展物

「アグロ・イノベーション」は農業の生産から加工・流通までの幅広い分野に関する出展者や商材が集まる展示会です。また、同時開催として「鳥獣対策・ジビエ活用展」、「野菜・果物ワールド」、「草刈り・除草ワールド」、「フローラル・イノベーション」が行われ、様々な情報を収集することが可能になっていました。

例えば、農業資材メーカーが展示していた太陽光集熱器は、薄型軽量の中空の板（26cm×123cm）を温室上部の植物の陰にならない空間に複数枚配置し、それに水を通して日中温まった水を貯水槽に貯えます。それを通水管を通して夜間の局所暖房に用いたり、ヒートポンプの熱利用効率の改善につなげたりして効果を検証していると説明がありました。

また、ブロッコリーの発泡スチロール・氷詰め出荷の代替として、鮮度保持フィルムを使った段ボール箱出荷を紹介しているブースが2つあり、これらの資材の活用によって出荷箱の軽量化やごみの削減につながることをアピールしていました。



集熱器の説明  
((株)大仙資料)



鮮度保持資材の説明  
((株)サカタのタネ資料)

### 2 講演会では最新の話も

各展示会では講演会も開催され、例えばアグロ・イノベーションではコロナ後・2030年に向けての農産物流通の在り方、野菜・果物ワールドでは機能性野菜の意義等について話を聞くことができました。

特に農産物流通に関しては、コロナ禍において小売と外食間で野菜の融通がうまくできなかったことや、流通の川上と川下のマッチングが進む中で少量多品目の配送に対応できるようにする必要があることから、スピード感や柔軟性が求められているとしました。



講演会の様子

会場では新型コロナウイルス感染症予防の対策が取られる中、熱心な参加者が多く訪れて情報収集に取り組んでいました。



## 産地の維持を。奥三河高原シクラメン組合の活動について

新城設楽農林水産事務所

愛知県はシクラメンの産出額が全国第1位（平成30年※<sup>1</sup>）であり、設楽町は豊川市、田原市に次ぐ県内で3番目の産地（平成30年※<sup>2</sup>）です。近年は鉢花の価格が低迷していることで、経営が非常に厳しくなっています。そのような中、6戸の生産者が奥三河高原シクラメン組合を組織し、栽培技術の向上や、産地のPRに取り組んでいます。

### 1 産地の概要

設楽町では、標高600mから900mにある名倉地区と津具地区の2か所でシクラメンが栽培されています。この産地のシクラメンは、夏季の冷涼な気候により花色の発色が良く、日持ちすることが特徴です。

今年は、10月上旬からのガーデンシクラメンを皮切りに、4号鉢、5号鉢と12月まで23万鉢を出荷予定です。



栽培の様子

### 2 組合の取組

#### (1) ほ場巡回

毎年10月に栽培技術の向上を目的として、組合員のほ場を全員で巡回しています。今年は6戸10名が参加し、シクラメンのできをお互いに確認しました。巡回では使用している肥料の種類、農薬の使い方など活発な意見交換が行われました。

#### (2) 品評会を活用した産地PR

今年は中止となりましたが、新城設楽花き振興連絡協議会との共催で、道の駅「もっくる新城」で毎年11月にシクラメンの品評会を実施しています。消費者のニーズを把握するため、審査は「もっくる新城」の来場者による投票で行われます。また、シクラメン生産者が来場者と交流を図りながら実施することで産地のPRにもつながっています。



令和元年に実施した品評会の様子

### 3 新城設楽農林水産事務所の活動

地元産鉢花の消費拡大を目的に「鉢花の日」を設けてフラワーウォークを実施しています。今年は農林水産事務所の他、建設事務所など管内の各事務所に斡旋し、82名から118鉢の注文があり、非常に盛況でした。今後も産地の維持を図るため支援に努めていきます。



フラワーウォークに参加した職員

※1：平成30年生産農業所得統計より

※2：平成30年産花き生産実績より

## キャベツの競合産地の状況

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

本県産キャベツの入荷が本格化する時期を迎えるにあたり、京浜市場愛知県野菜連絡会キャベツ研究会（首都圏の青果卸売会社 12 社で構成）は毎年 12 月初旬に競合産地調査及び入荷物の品質検討会を行っています。

本年は 12 月 1 日（火）に産地調査が、12 月 10 日（木）に品質検討会が開催されました。

### 1 競合産地調査

競合産地調査は毎年①千葉県銚子市、②神奈川県三浦市及び横須賀市で行われています。毎年同じ地域を同じ時期に見ることで、例年に比べて今年の生育はどうか、結球の大きさはどうかといった比較ができます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により例年と異なって参加者を少なくする形がとられ、愛知県内産地からの参加は見合せとなり、卸売会社 2 社及び主要 2 JA（愛知みなみ、豊橋）の東京駐在員、JA あいち経済連東日本営業所職員、愛知県東京事務所職員が参加して行われました。

#### （1）千葉県

銚子市を大きく西部地区と東部地区に分けると、西部地区は出荷最盛期で、東部地区には年明け以降に収穫する作型が多く植えられていました。西部地区でも収穫後のほ場はすぐに定植準備がされており、年 2～3 作のキャベツ体系がうかがわれました。

西部地区の生育は良好で揃いも良く、一斉収穫できる様子でした。また、ごく一部

のほ場で食害痕が見られましたが外葉のみで止まっており、黒腐病の発生もわずかに見られた程度でした。



千葉県のほ場

#### （2）神奈川県

三浦市は年内から 2 月収穫までの作型が植えられており、生育は良好で、8 玉サイズでの出荷が見込まれました。一部では食害痕が散見されました。例年よりだいこんの収穫が進んでいませんでしたが、今後、3 月以降に収穫される春キャベツの定植が



遅れないように収穫や定植の作業が進められるのかもしれませんが。

横須賀市は年内収穫の作型が多く、生育は良好でした。食害痕や黒腐病の発生が見られましたが多くはなく、出荷への影響はなさそうでした。



神奈川県のおぼ場

## 2 品質検討会

例年は競合産地調査と同日開催されますが本年は別日での開催となり、卸売会社9社が参加して、冬系と春系、それぞれ秀8玉の入荷物について品質検討されました。

なお、検討後は、愛知県内主要2JA（愛知みなみ、豊橋）の東京駐在員及びJAあいち経済連東日本営業所職員、愛知県東京事務所職員も参加して情報交換が行われました。

### (1) 冬系

本県産の5出荷物及び茨城県産の6つが用いられました。全体的に品質は良好で、重量もありました。本県産の一部に黒腐病や虫害が少し見られました。茨城県産も良かったとの評価でした。

### (2) 春系

本県産の4出荷物及び神奈川県産、千葉県産の6つが用いられました。重量が重いものが多くありましたが、外葉が多い産地が半数以上あったほか、本県産を含めて黒腐病や虫害が少し見られました。また、穫り遅れまではいかないものの芯が高いとの評価が聞かれました。



品質を入念にチェック

単価安が続く中では、値上りを期待して収穫を遅らせる心理が働くと思いますが、今回は裂球や明らかな収穫遅れはなく、適期収穫されていることがうかがわれました。

競合する県外産地の品質も良好であり、品質差は大きくないようでした。単価安の厳しい状況であっても高品質なキャベツを出荷し続けることによって、仲卸業者や実需者の愛知県産物に対する信頼を高めることが重要だと思われました。



## 2019年の県内卸売市場における青果物・花きの流通動向

食育消費流通課

## 1 名古屋市中心卸売市場及び県内地方卸売市場の青果物について

## (1) 2019年の野菜及び果実取扱数量

野菜については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は40万3千tで、5年前と比べてほぼ同数量でした(表1)。このうち、県内産野菜は6万8千tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は10万9千t(2014年比78.1%)で、5年前と比べて3万1千t減少しました。このうち、県内産野菜は4万5千tでした。

果実については、名古屋市中心卸売市場の取扱数量は9万8千t(同81.9%)で、5年前と比べて2万1千t減少しました。このうち、県内産果実は1万1千tでした。一方、県内地方卸売市場の取扱数量は4万t(同73.1%)で、5年前と比べて1万5千t減少しました。このうち、県内産果実は1万5千tでした。

## (2) 青果物の取扱数量における動向

県内地方卸売市場では、名古屋市中心卸売市場と比べ、野菜、果実ともに取扱数量の減少率が大きくなっています。その主な要因として、系統出荷や農産物直売所での販売等が増加し、地方卸売市場への出荷量が減少していることが挙げられます。

また、主要品目では、減少傾向にある品目が多い一方で、野菜のごぼうやブロッコリー、果実のびわやりんごの取扱数量は比較的安定しています。

表1 県内卸売市場における青果物の取扱数量

[単位:万t]

		2019年			2014年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
名古屋市中心	野菜	40.3	6.8	16.9%	40.3	7.9	19.5%
	果実	9.8	1.1	10.8%	11.9	1.4	11.9%
県内地方	野菜	10.9	4.5	41.1%	14.0	5.9	42.3%
	果実	4.0	1.5	37.9%	5.5	2.0	36.5%

(注)表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

## 2 県内地方卸売市場の花きについて

## (1) 2019年の切り花及び鉢物取扱数量

切り花の取扱数量は1億8千8百万本(同77.9%)で、5年前と比べて5千3百万本減少しました(表2)。このうち、県内産切り花は7千3百万本でした。

鉢物(花壇用苗物等含む)の取扱数量は5千7百万鉢(同80.1%)で、5年前と比べて1千5百万鉢減少しました。このうち、県内産鉢物は2千2百万鉢でした。

## (2) 花きの取扱数量における動向

切り花、鉢物ともに、市場全体及び県内産の取扱数量は減少傾向にあります。

また、主要品目では、減少傾向にある品目が多い一方で、切り花のゆりやきく、鉢物のポットマムや洋らんの取扱数量は比較的安定しています。

表2 県内地方卸売市場における花きの取扱数量

[単位:千万本、千万鉢]

		2019年			2014年		
		全体	県内産	県産シェア	全体	県内産	県産シェア
県内地方	切り花	18.8	7.3	39.0%	24.1	10.7	44.3%
	鉢物	5.7	2.2	37.9%	7.2	3.1	43.3%

(注)表は小数点以下第2位を四捨五入しています。

## 「あいち花マルシェ2020メインステージ」を開催しました！

園芸農産課

本県は、57年連続で花き生産日本一を誇る「花の王国」です。県民参加型の「花と緑のイベント」を毎年開催し、「花の王国あいち」のPRに取り組んでいます。

本年度は、県民の皆様が本県の素晴らしい花を見て、触れて、直接購入できる「あいち花マルシェ2020」のメインステージを安城産業文化公園デンパークで開催し、あいちの花の魅力を広くPRしました。

### 1 開催概要

#### (1) 期 日

令和2年11月20日（金）から23日（月・祝）まで

#### (2) 場 所

安城産業文化公園デンパーク

#### (3) 主 催

あいち花マルシェ2020実行委員会

構成：愛知県、安城市、名古屋市、JAグループ愛知（中央会・連合会）、あいち中央農業協同組合、愛知県花き温室園芸組合連合会、西三河花き温室園芸組合連合会、安城市温室園芸組合、公益財団法人安城都市農業振興協会、名古屋生花小売商業協同組合、一般社団法人JFTD、中日新聞社

### 2 メインステージ（安城産業文化公園デンパーク）の結果

#### (1) 来場者数

約25,000人

#### (2) 花マルシェ（あいちの花の販売）の売上

約640万円

#### (3) 結果の概要

コロナ禍の中、感染防止に細心の注意を払って開催した結果、多くの方が来場され、「あいちの花」を購入していただきました。また、花の使い方を提案するディスプレイなども楽しまれ、暮らしの中に「あいちの花」を取り入れていただくきっかけとなりました。

来場者からは「コロナ禍の中、たくさんのお花に癒された。」、「あいちの花の品質の高さや豊富な種類に驚いた。」「また来年も開催してほしい。」という声が多く聞かれました。

### 3 内 容

#### (1) 花マルシェ

##### ア 会 場（安城産業文化公園デンパーク）

地元の生産者団体や県内のお花屋さんが多数出店し、あいちの花の販売を行いました。



地元生産者による花の販売



お花屋さんによる花の販売

## イ オンライン花マルシェ

コロナ禍においても、「あいちの花」を楽しんでいただけるよう、花マルシェの特設 Web サイトを設け、生産者による花の紹介や花育動画、フラワーコンテストの結果などを配信しました。また、楽天市場内の「あいちの『食と物産』マルシェ」とリンクし、オンラインであいちの花を3月末まで販売しています。



特設 Web サイトトップページ



花マルシェのページ

## (2) あいちフラワーコンテスト

県内の花き生産者から切花・鉢物 286 点が出品されました。審査の後、会期中に一堂に展示し、展示終了後に販売しました。



コンテストの展示（切花）



コンテストの展示（鉢物）



### (3) 花のディスプレイ

花の使い方を提案するディスプレイの展示を行いました。



ディスプレイ「花こもれび」



安城市温室園芸組合



愛知県花き連花きPR部会



愛知県花き連カーネーション部会



中日いけばな協会



安城市立西部小学校の児童が  
制作した寄せ植え

### (4) その他

県民参加型イベントとして、花の体験教室やスタンプラリーも行いました。



花の体験教室



スタンプラリー



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：こまつな）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2年実績※	3,671	337 (14%)	361	315	茨城 (50%) 岐阜 (23%) 静岡 (11%)
3年見通し	3,670	—	360	—	
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>			
<p>本年は天候に恵まれ、各産地ともに豊作傾向にある。主産地の茨城はハウス物中心に入荷する。生育状況は平年並で、1月の入荷量は多かった前年を上回る見込み。愛知は露地物中心の入荷で、1週間程度の前進傾向にある。年末の集中的な入荷が終了し、1月の入荷量は前年を下回る見込み。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。</p>		<p>愛知は高齢化により作付面積が減少傾向にある。卸売市場としても地場産物を販売したいので、後継者の確保及び安定的な出荷体制の整備をお願いしたい。</p> <p>※令和2年12月は実績が出ていないため、平成元年12月～令和2年11月の数値を令和元年実績として標記しております。</p>			

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2年実績※	7,802	512 (7%)	274	199	長野 (37%) 静岡 (29%) 福岡 (10%)
3年見通し	8,000	—	270	—	
<b>概要と見通し</b>		<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>			
<p>大きな気象災害なく、天候に恵まれて生育は順調で、1月以降も潤沢な入荷が見込まれる。</p> <p>例年は年末に向けて価格が上がるが、野菜全体が安値傾向の中で、入荷量の減少はなく価格の上昇は見込めない。今後も苦しい相場展開が続く、厳しい販売状況が予想される。野菜全体の動きが良くなれば好転が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えず業務需要が回復しない中で苦しい販売が続くが、量販店ではクリスマスから年始までと、彼岸以降の春商材としての引き合いが強い。</p> <p>日量格差の少ない安定出荷はもちろん、精度の高い出荷情報の提供や特売・販促の実施が望まれる。</p> <p>※令和2年12月は実績が出ていないため、令和元年12月～令和2年11月の数値を令和2年実績として標記しています。</p>			

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	28年	30,733	218	245	200	220	愛知 27%
	29年	30,864	235	261	225	218	北海道 20%
	30年	28,157	290	365	271	261	茨城 7%
	元年	29,711	227	261	218	215	兵庫 5%
	2年	30,386	216	254	206	200	熊本 5%
	5ヵ年平均	29,970	236	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	30,000	214	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	北海道、愛知、茨城などが中心となる。葉物類と果菜類では、前進傾向により年明けの入荷が減少する品目も見られる。土物のばれいしょは栽培面積の減少による数量減で高値となるか。入荷量と価格はともに前年並となる見込み。						
	だいこん	28年	1,667	64	62	57	80
29年		1,733	80	90	78	82	徳島 24%
30年		1,442	183	217	205	142	静岡 20%
元年		1,704	64	75	61	65	鹿児島 10%
2年		1,721	68	91	68	61	愛知 9%
5ヵ年平均		1,654	89	104	90	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し		1,700	73	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島、千葉、静岡、愛知などから入荷する。各産地ともに天候に恵まれ生育順調で、大玉中心の入荷となる見込み。上旬の入荷は少なく、中旬以降がピークとなるか。前年同様、安値展開が予想される。入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。							
にんじん		28年	1,938	85	99	82	85
	29年	1,882	130	136	129	130	鹿児島 4%
	30年	1,509	182	172	194	172	長崎 2%
	元年	1,853	101	109	106	93	熊本 1%
	2年	1,965	97	123	105	79	
	5ヵ年平均	1,829	116	126	120	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,900	110	110	110	110	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に入荷する。愛知は生育良好で、2L・Lサイズを中心に順調な入荷を見込む。入荷量は最も多かった前年並となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

12月28日現在

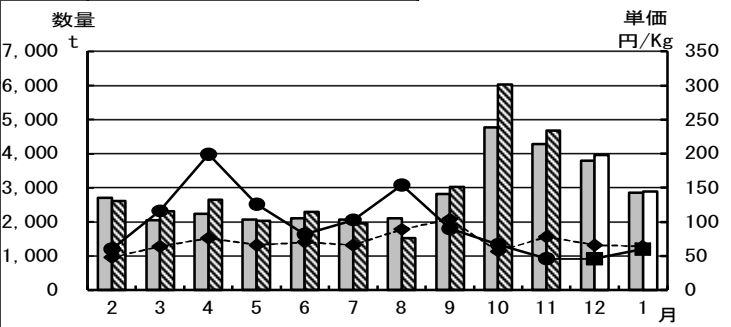
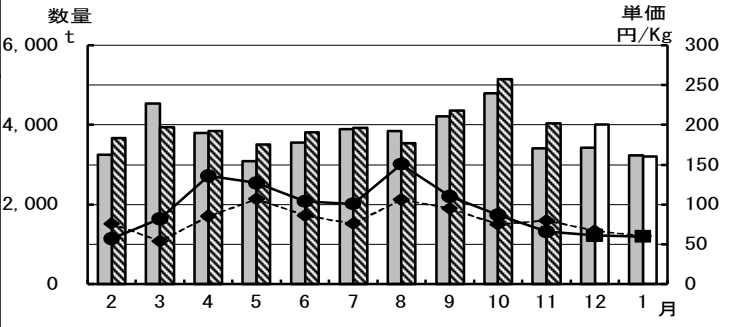
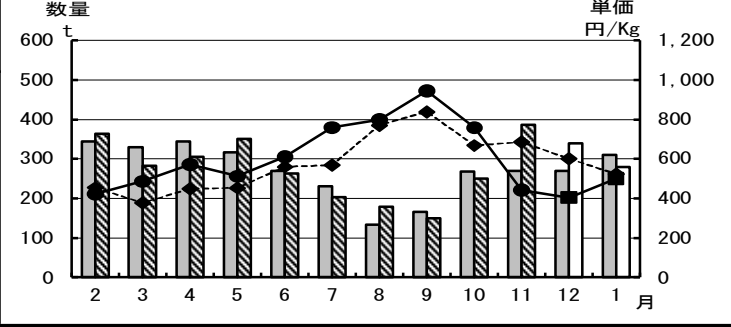
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	120,420	238	250	218	245	千葉 17%
	29年	123,907	252	276	242	246	茨城 15%
	30年	108,242	321	385	300	297	愛知 11%
	元年	115,548	242	264	234	235	北海道 10%
	2年	119,510	234	269	221	223	神奈川 6%
	5ヵ年平均	117,525	256	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	121,000	225	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。豊作基調が続くも一部品目では前進出荷のため落ち着いた出回りとなるか。果菜類は月後半に成り疲れや寒さで量を減らすと見込まれ相場上昇に期待。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
だいこん	28年	12,970	58	55	47	69	神奈川 47%
	29年	13,153	81	90	73	81	千葉 42%
	30年	9,325	193	222	203	157	徳島 5%
	元年	10,975	67	70	64	67	鹿児島 1%
	2年	11,290	75	88	72	67	福岡 1%
	5ヵ年平均	11,543	90	102	90	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	11,500	75	80	70	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>神奈川、千葉からの入荷が中心となる。主力関東産地は前進傾向に加え干ばつの影響でサイズはやや小さくなり落ち着いた入荷となるか。相場低迷が続けば、神奈川では引き続き出荷調整される見込み。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>					
にんじん	28年	7,427	79	84	76	79	千葉 84%
	29年	6,787	155	152	155	155	埼玉 7%
	30年	6,012	154	140	150	169	茨城 4%
	元年	7,049	103	102	114	93	鹿児島 1%
	2年	6,378	129	143	131	119	中国 1%
	5ヵ年平均	6,731	122	123	124	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,600	120	130	120	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に埼玉などからの入荷となる。気温低下により肥大緩慢になるも、千葉では生育、肥大とも良好で収穫作業は順調に進む。12月末に量を減らした流れが1月上旬は続くも中旬には増量か。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	28年	2,387	63	61	53	77	茨城 41%	
	29年	2,430	101	116	102	92	兵庫 32%	
	30年	2,875	170	188	166	163	愛知 19%	
	元年	3,222	49	57	48	46	三重 4%	
	2年	2,859	64	84	60	55	宮崎 3%	
	5ヵ年平均	2,755	89	101	86	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,900	60	60	60			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫、愛知を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、やや前進傾向にある。愛知は切り上がり及早まる予想。気温が下がれば鍋需要が期待される。漬物・加工業務用は販売に苦戦するか。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					
	<p>茨城、兵庫、愛知を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、やや前進傾向にある。愛知は切り上がり及早まる予想。気温が下がれば鍋需要が期待される。漬物・加工業務用は販売に苦戦するか。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり下回る見込み。</p>							
	キャベツ	28年	3,806	56	45	56	65	愛知 90%
29年		3,224	100	102	99	97	茨城 5%	
30年		2,728	178	258	179	143	兵庫 2%	
元年		2,711	92	78	94	100	三重 2%	
2年		3,241	60	72	57	58	滋賀 1%	
5ヵ年平均		3,142	93	105	93	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		3,200	60	60	60			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などから入荷する。各産地ともに少雨の影響で小玉傾向が見られる。上旬の入荷は平年より少なく、下旬に向けて増量するか。愛知の入荷量は前年並の見込み。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>						
<p>愛知を中心に茨城などから入荷する。各産地ともに少雨の影響で小玉傾向が見られる。上旬の入荷は平年より少なく、下旬に向けて増量するか。愛知の入荷量は前年並の見込み。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>								
ほうれんそう		28年	305	538	497	488	690	愛知 63%
	29年	362	486	416	495	529	茨城 12%	
	30年	196	906	1,047	849	887	岐阜 9%	
	元年	263	534	504	550	544	静岡 5%	
	2年	310	523	618	526	486	群馬 4%	
	5ヵ年平均	287	571	579	559	606	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	280	500	500	500			
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に茨城などから入荷する。各産地ともに気温の低下で生育が停滞している。愛知は平年と同様のは種をしたが、11月下旬の干ばつと12月の気温低下による生育不良が懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
	<p>愛知を中心に茨城などから入荷する。各産地ともに気温の低下で生育が停滞している。愛知は平年と同様のは種をしたが、11月下旬の干ばつと12月の気温低下による生育不良が懸念される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							



東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうとう	28年	12,573	46	42	38	57	茨城 83%	
	29年	13,811	93	101	96	86	群馬 6%	
	30年	13,431	149	146	147	153	兵庫 6%	
	元年	14,178	37	41	38	35	埼玉 2%	
	2年	13,992	60	72	57	53	和歌山 1%	
	5ヵ年平均	13,597	77	80	75	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	14,000	45	40	45	50		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、群馬、兵庫などからの入荷となる。主力の茨城は生育、肥大ともに良好で豊作基調。潤沢な出回りが続き、寒さで鍋需要が高まっても厳しい相場展開は変わらずか。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
	<p>茨城を中心に、群馬、兵庫などからの入荷となる。主力の茨城は生育、肥大ともに良好で豊作基調。潤沢な出回りが続き、寒さで鍋需要が高まっても厳しい相場展開は変わらずか。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
	キャベツ	28年	15,016	59	49	60	64	愛知 65%
29年		14,792	106	107	102	109	千葉 19%	
30年		11,821	198	248	192	171	神奈川 10%	
元年		12,805	100	90	100	106	茨城 2%	
2年		15,382	68	83	65	61	鹿児島 1%	
5ヵ年平均		13,963	102	110	100	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		15,500	70	70	70	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>本県、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。本県は高めの気温と十分な日照から作柄良好。干ばつの影響で落ち着いた入荷も天候次第で肥大が進むか。関東産地も生育は順調で、潤沢な入荷が続く見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
<p>本県、千葉、神奈川からの入荷が中心となる。本県は高めの気温と十分な日照から作柄良好。干ばつの影響で落ち着いた入荷も天候次第で肥大が進むか。関東産地も生育は順調で、潤沢な入荷が続く見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>								
ほうれんそう		28年	1,378	544	497	446	696	群馬 38%
	29年	1,621	458	467	433	479	茨城 27%	
	30年	1,164	815	1,045	718	769	埼玉 13%	
	元年	1,319	535	589	545	495	千葉 8%	
	2年	1,564	527	689	485	476	栃木 4%	
	5ヵ年平均	1,409	564	640	515	572	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,500	550	600	500	550		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。生育は順調だったが寒波により停滞の懸念あり。前進出荷により端境が心配される産地があるも、総じて大きな山谷なく落ち着いた入荷が続く見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
	<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。生育は順調だったが寒波により停滞の懸念あり。前進出荷により端境が心配される産地があるも、総じて大きな山谷なく落ち着いた入荷が続く見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

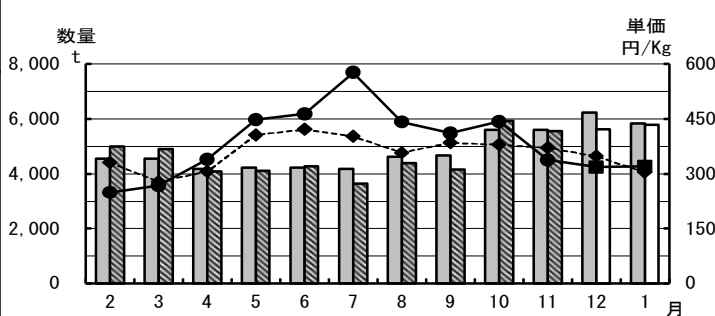
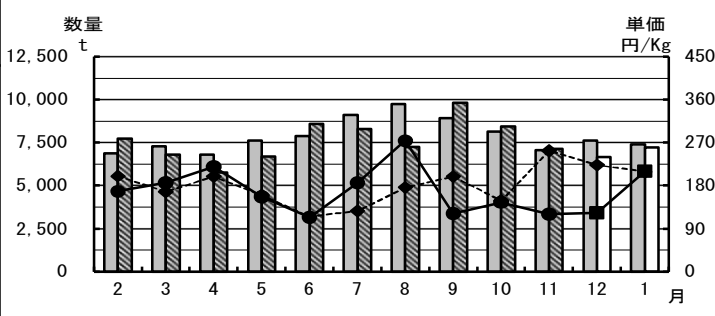
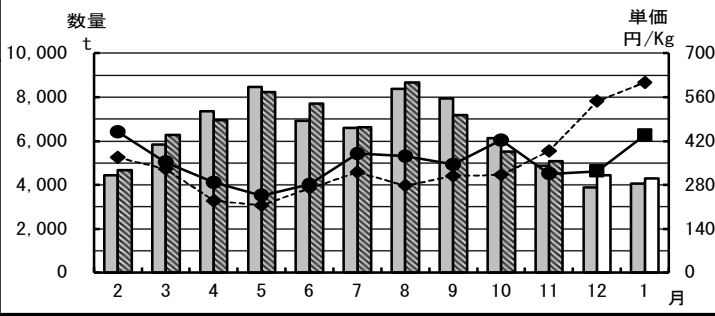
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	972	378	436	341	394	大分 24%
	29年	995	424	473	439	385	静岡 20%
	30年	844	498	557	523	460	群馬 11%
	元年	969	362	466	371	306	愛知 8%
	2年	1,044	348	434	360	295	長野 8%
	5ヵ年平均	965	399	470	403	365	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	950	356	400	330	350	
ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、大分、群馬、愛知などから入荷する。白ねぎは、大分と静岡が中心で、天候が安定していれば順調に入荷する見込み。愛知の越津ねぎは順調な入荷が続くと予想される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見通し。</p>						
し	28年	1,323	285	293	266	303	兵庫 34%
	29年	1,576	228	203	217	267	静岡 18%
	30年	1,136	446	646	393	339	愛知 17%
	元年	1,465	244	251	250	235	熊本 14%
	2年	1,636	220	232	211	225	長崎 11%
	5ヵ年平均	1,427	275	307	259	269	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,500	230	230	230	230	
ス	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>兵庫、静岡、愛知などから入荷する。年内の前進傾向により、1月中旬頃には大きな入荷減を見込む。大玉からやや小玉傾向になり、箱数も伸びないと予想される。入荷量が少ないまま高値となるか。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>						
きゅう	28年	1,099	421	356	398	534	愛知 63%
	29年	1,189	368	369	367	368	宮崎 15%
	30年	1,198	221	166	233	276	高知 13%
	元年	1,312	410	442	398	395	鹿児島 9%
	2年	1,184	522	529	444	592	
	5ヵ年平均	1,196	388	374	368	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,250	393	400	380	400	
り	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に宮崎、高知、鹿児島から入荷する。各産地ともに順調な入荷を見込む。愛知は気温低下により大きな入荷ピークもなく、入荷量は前年並の見込み。下旬は節分需要があり、若干相場を戻すか。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	5,550	337	395	301	331	千葉 28%
	29年	5,559	365	454	358	313	茨城 21%
	30年	4,940	424	498	389	409	埼玉 18%
	元年	5,578	318	386	317	274	群馬 9%
	2年	5,831	304	368	242	215	栃木 8%
	5ヵ年平均	5,492	347	418	319	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,800	320	380	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉県、埼玉県など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は肥大が進んで2L比率が高まる一方、寒さから生育は落ち着く見込み。茨城は年内は平年を下回る入荷量も、生育回復により平年並の入荷となるか。入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
							
し	28年	6,613	274	274	253	293	静岡 36%
	29年	7,889	219	197	208	253	香川 13%
	30年	5,144	450	681	400	330	長崎 13%
	元年	6,945	240	247	245	230	兵庫 10%
	2年	7,409	209	218	199	210	福岡 6%
	5ヵ年平均	6,800	267	300	251	258	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,200	210	220	210	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川、長崎などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は前進し作柄良好だったものの、干ばつと12月中旬以降の冷え込みにより小玉傾向で入荷量は落ち着く見込み。量がまとまると相場は厳しいか。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
							
きゅうり	28年	4,639	454	373	439	548	宮崎 41%
	29年	4,911	393	393	400	389	千葉 19%
	30年	4,720	462	432	478	475	高知 17%
	元年	4,553	458	518	439	425	群馬 8%
	2年	4,062	607	647	504	674	茨城 7%
	5ヵ年平均	4,577	471	467	450	497	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,300	440	400	430	490	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、千葉、高知からの入荷が中心となる。西南暖地では11月中旬以降に高めの気温で推移したことによる着果負担に加えて12月は気温が低かったことから、天候によっては入荷量の減少を懸念。入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	28年	289	463	349	468	587	熊本 50%
	29年	377	394	366	388	426	愛知 45%
	30年	390	444	452	441	444	高知 4%
	元年	400	394	375	384	422	
	2年	415	407	388	390	451	
	5ヵ年平均	374	418	388	411	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	420	390	370	380	400	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。各産地ともに生育順調で、入荷量は前年より多い見込み。熊本は気温低下の影響で太物が少ないか。外食需要が少なく、前年より安値が予想される。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
ト	28年	867	444	372	429	541	熊本 53%
	29年	976	384	406	377	376	愛知 22%
	30年	1,186	352	423	347	297	三重 13%
	元年	1,104	258	237	258	282	岐阜 11%
	2年	1,065	285	252	283	320	高知 1%
	5ヵ年平均	1,040	340	337	334	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,100	280	250	270	300	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。各産地ともに年末年始は順調に入荷し、中旬以降は減少する見込み。愛知は生育順調で、入荷量は少なかった前年をかなり上回るか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安値だった前年並となる見込み。</p>						
ミ	28年	369	808	789	752	890	熊本 65%
	29年	390	779	823	753	787	愛知 25%
	30年	389	756	730	767	787	宮崎 5%
	元年	500	576	509	569	659	和歌山 5%
	2年	463	573	464	581	694	
	5ヵ年平均	422	687	647	674	754	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	450	550	500	550	600	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知を中心に入荷する。上旬は年末年始の入荷を含め、潤沢な入荷を見込む。中旬以降は、成り疲れ、気温低下、日照時間の減少等により、入荷減となるか。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年をやや下回る見込み。</p>						



東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
かなす	28年	1,613	544	429	598	619	高知 65%
	29年	2,030	441	413	446	463	福岡 15%
	30年	2,130	460	431	475	476	熊本 11%
	元年	1,974	453	405	441	512	佐賀 3%
	2年	2,032	463	413	447	539	栃木 2%
	5ヵ年平均	1,956	469	418	477	517	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,000	460	450	460	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡、熊本などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調。主力の高知は増量も、福岡は樹勢低下により着果が減少して入荷は少なめと見込まれ、総じて平年並の出回りとなる。相場下落によって動きが出るか。 入荷量、価格とも前年並となる見込み。</p>					
<p>高知、福岡、熊本などからの入荷が中心となる。各産地とも生育は順調。主力の高知は増量も、福岡は樹勢低下により着果が減少して入荷は少なめと見込まれ、総じて平年並の出回りとなる。相場下落によって動きが出るか。 入荷量、価格とも前年並となる見込み。</p>							
トマト	28年	4,768	473	412	459	552	熊本 46%
	29年	5,223	424	414	413	421	栃木 17%
	30年	5,692	397	465	473	478	愛知 14%
	元年	5,767	314	294	308	337	静岡 4%
	2年	5,243	336	312	327	373	千葉 4%
	5ヵ年平均	5,339	386	379	394	429	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,400	340	320	360	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、本県からの入荷が中心となる。熊本は11月の気温高から生育は前進し入荷量増も12月の気温低下と着果負担により1月は落ち着くか。栃木や本県も生育順調で、不足感ない出回りを見込む。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
<p>熊本、栃木、本県からの入荷が中心となる。熊本は11月の気温高から生育は前進し入荷量増も12月の気温低下と着果負担により1月は落ち着くか。栃木や本県も生育順調で、不足感ない出回りを見込む。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
ミニトマト	28年	1,499	782	763	739	844	熊本 45%
	29年	1,571	754	804	716	744	愛知 18%
	30年	1,615	724	706	724	746	千葉 11%
	元年	1,885	554	481	538	652	宮崎 8%
	2年	1,776	571	473	566	681	静岡 5%
	5ヵ年平均	1,669	669	634	650	728	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,700	600	580	620	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、本県、千葉、宮崎、静岡などからの入荷となる。12月の気温低下と成り疲れにより着果量が少なくなっているものの、十分な量の出回りとなると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
<p>熊本、本県、千葉、宮崎、静岡などからの入荷となる。12月の気温低下と成り疲れにより着果量が少なくなっているものの、十分な量の出回りとなると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

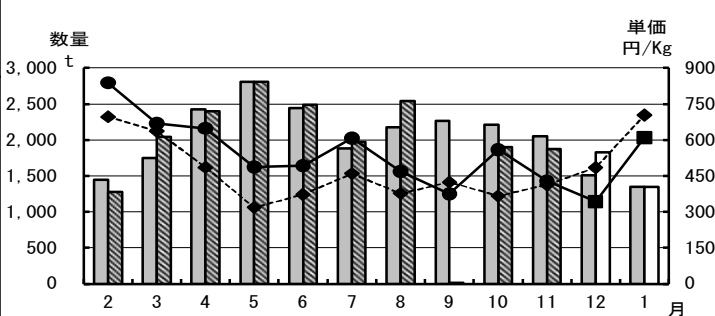
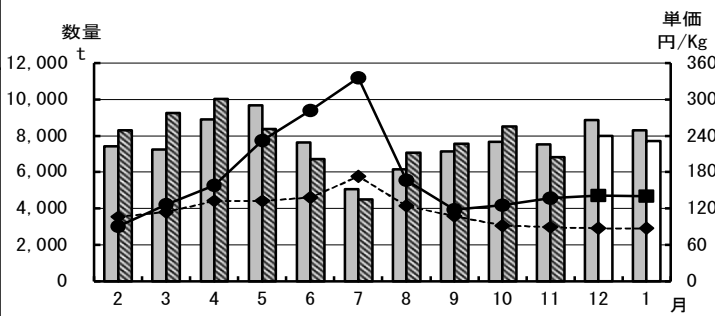
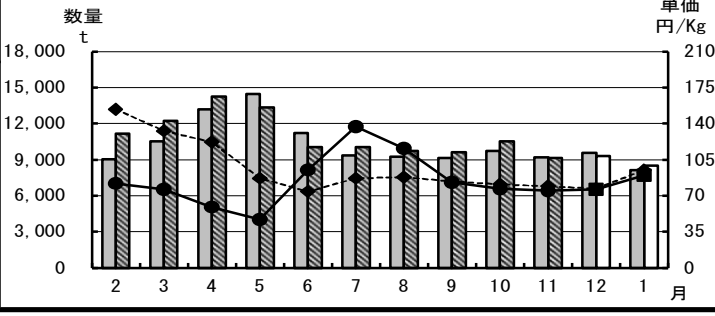
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	28年	417	573	497	572	721	鹿児島 57%
	29年	493	499	405	520	581	宮崎 31%
	30年	408	689	598	687	731	高知 11%
	元年	349	654	569	667	694	
	2年	361	637	567	607	794	
	5ヵ年平均	405	604	520	605	697	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	360	600	550	600	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎、高知から入荷する。11月～12月は前倒しで入荷しており、1月は成り疲れから入荷減となる見込み。物量減少による高値での推移となるか。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	28年	2,746	122	109	117	133	北海道 57%
	29年	2,388	202	192	198	210	長崎 33%
	30年	2,614	123	102	122	133	鹿児島 10%
	元年	2,553	120	116	119	121	
	2年	2,864	81	88	84	74	
	5ヵ年平均	2,633	127	119	126	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,500	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長崎、鹿児島から入荷する。北海道の貯蔵物は少なめで、入荷量は前年を大幅に下回る見込み。長崎は小玉傾向が見られる。鹿児島は作付面積減少による入荷減となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	28年	5,493	71	70	70	76	北海道 93%
	29年	6,407	80	78	81	80	静岡 5%
	30年	5,146	96	101	95	96	愛知 1%
	元年	4,992	122	138	115	126	
	2年	4,469	82	80	84	83	
	5ヵ年平均	5,301	89	92	88	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,800	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道主体で静岡からも一部入荷する。北海道はL大サイズを中心に順調な入荷を見込む。新たまねぎの静岡は生育良好で、早い段階での入荷ピークが予想される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	1,348	642	542	557	736	宮崎 52%	
	29年	1,539	549	474	549	608	高知 22%	
	30年	1,380	728	657	751	766	鹿児島 15%	
	元年	1,315	714	633	730	754	茨城 10%	
	2年	1,348	703	617	655	835		
	5ヵ年平均	1,386	664	582	646	736	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,350	610	480	620	730		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>宮崎、高知、鹿児島などからの入荷となる。主力宮崎は生育順調で着果数や果実肥大も良好。中旬以降は成り疲れで量を減らすか。高知は成り疲れからの回復を見込むも、全体量は減って相場上向くか。 入荷量は前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
	ばれいしょ	28年	7,660	128	112	122	140	北海道 61%
29年		7,268	198	192	192	207	長崎 26%	
30年		7,390	123	117	123	125	鹿児島 13%	
元年		7,626	118	124	118	115		
2年		8,307	87	89	87	85		
5ヵ年平均		7,650	129	126	127	133	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		7,700	140	150	140	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道と九州からの入荷となる。貯蔵から入荷の北海道は大玉傾向も玉数少なく、生食用から加工用へ仕向け先変更もあって出回りは少なめか。九州産も玉数少ないが遅れている長崎産は量を増やす見込み。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ		28年	9,552	81	79	80	83	北海道 84%
	29年	10,342	97	93	96	99	静岡 12%	
	30年	9,520	107	101	103	115	中国 3%	
	元年	8,179	144	132	140	153	愛知 1%	
	2年	8,126	95	93	96	94		
	5ヵ年平均	9,144	104	99	102	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	8,500	90	80	100	90		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>北海道を中心に静岡などからの入荷となる。主力の北海道は十分な貯蔵量でL大中心の入荷となる。静岡は前年と同じく豊作基調で前進傾向のため、十分な量が出回ると見込まれる。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	7,411	411	442	403	402	青森 19%
	29年	8,115	372	425	338	366	静岡 18%
	30年	6,999	440	482	427	400	フィリピン 13%
	元年	7,988	394	402	367	385	愛知 12%
	2年	7,344	416	462	339	382	愛媛 9%
	5ヵ年平均	7,571	405	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	8,200	380	—	—	—		
実	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	いちご、みかん、りんごなどが主な品目となる。いちごとみかんは大玉傾向で、前年より入荷増の見込み。りんごは主力の青森が輸出終了後の中旬以降に増量するか。後半はツル割れ果の増加が懸念される。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
み	28年	2,203	313	312	309	321	静岡 55%
	29年	3,057	239	264	215	259	愛知 21%
	30年	1,833	401	425	425	360	和歌山 10%
	元年	2,681	285	282	281	296	愛媛 5%
	2年	2,345	289	324	301	272	三重 4%
	5ヵ年平均	2,424	297	313	295	296	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	2,700	280	0	0	0		
か	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡を中心に愛知などからも入荷する。各産地ともに大玉傾向で、入荷量は表年の令和元年産よりも多い見込み。愛知は令和元年産並の入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
い	28年	560	1,479	1,421	1,382	1,641	愛知 53%
	29年	566	1,464	1,469	1,424	1,471	熊本 29%
	30年	598	1,540	1,704	1,494	1,421	鹿児島 6%
	元年	635	1,440	1,493	1,430	1,481	岐阜 3%
	2年	508	1,737	1,918	1,670	1,644	宮崎 3%
	5ヵ年平均	573	1,526	1,594	1,475	1,527	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	580	1,500	0	0	0		
ち	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、熊本を中心に入荷する。各産地ともに大玉傾向で、1番果と2番果が連続して入荷する。中下旬は2番果の入荷により増量する見込み。愛知も大玉傾向で、入荷量は前年をかなり上回るか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						



東京都中央卸売市場

12月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	34,644	442	489	421	434	愛媛 21%
	29年	36,736	427	493	402	415	静岡 16%
	30年	31,100	507	610	481	476	青森 13%
	31年	34,638	453	516	423	446	和歌山 8%
	2年	33,257	457	545	430	435	フィリピン 7%
	5ヵ年平均	34,075	456	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	34,000	440	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>みかん中心にいちご、りんごなどが入荷する。また、柑橘類の入荷も本格化し、熊本の不知火が1月下旬からピークを迎えるなど後半に向けて量が出そう見込み。りんごは前年のような不足感はない。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
み	28年	13,080	314	294	312	328	静岡 34%
	29年	15,379	266	268	260	270	愛媛 25%
	30年	10,940	377	379	382	369	長崎 14%
	31年	13,524	301	286	292	318	和歌山 13%
	2年	13,991	276	279	277	274	熊本 4%
	5ヵ年平均	13,383	303	297	300	308	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	14,000	270	270	270	270		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡を中心に愛媛、長崎などから入荷する。静岡は前年雹害の影響があったが今年は順調。他の産地も天候良く生育順調で、大玉傾向となり不足感はない。その分荷動きは鈍くなる見込み。入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						
いちご	28年	3,218	1,460	1,405	1,385	1,583	栃木 46%
	29年	3,779	1,458	1,459	1,448	1,466	福岡 17%
	30年	3,780	1,549	1,702	1,517	1,436	茨城 10%
	31年	3,839	1,473	1,499	1,420	1,490	静岡 10%
	2年	3,000	1,799	1,975	1,739	1,692	長崎 5%
	5ヵ年平均	3,523	1,539	1,598	1,495	1,525	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	3,800	1,500	1,500	1,500	1,500		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木を中心に福岡、茨城などから入荷する。主となる栃木や福岡では、現状の1番果は順調な入荷が続き、2番果への切り替え時も不足や大きな端境はない見込み。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

# 切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月28日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	28年	1,649	50	
		29年	1,629	53	
		30年	1,576	53	
		元年	1,666	54	
		2年	1,485	53	
	5カ年平均	1,601	53		
	3年見通し	1,500	53		
	概要	愛知を中心に入荷する。上旬は入荷量少なめ、中旬以降は安定してくるが大きな山はない見込み。業務中心の引き合いとなりそう。			
小 ぎ	実績	28年	972	25	
		29年	927	21	
		30年	614	35	
		元年	684	40	
		2年	813	30	
	5カ年平均	802	29		
	3年見通し	800	30		
	概要	沖縄を中心に入荷する。上旬は入荷量少なめだが、中旬以降は安定してくる見込み。相場は一般需要の動きにより変動するとみられる。			
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	840	36	
		29年	802	40	
		30年	746	45	
		元年	864	46	
		2年	874	41	
	5カ年平均	825	42		
	3年見通し	850	42		
	概要	愛知を中心に入荷する。上位等級中心に例年並の入荷が見込まれる。			
か す み	実績	28年	138	63	
		29年	171	65	
		30年	174	70	
		元年	167	57	
		2年	148	82	
	5カ年平均	160	67		
	3年見通し	150	70		
	概要	高知、和歌山、熊本からの入荷となる。12月上中旬の気温が高かったため、前進出荷となっている。気温が低めに推移すれば、少なめの入荷となる見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等				数量 千本	単価 円/本
ゆり	実績	28年	250	174		
		29年	233	217		
		30年	209	326		
		元年	235	180		
		2年	122	282		
	5カ年平均	210	228			
3年見通し	200	250				
概要	オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知から、鉄砲は高知、鹿児島から、L Aは埼玉、高知から入荷する。オリエンタルは球根納入の遅れがあり、今後の天候にもよるが入荷量は多くならない見込み。					
洋らん	実績	28年	457	60		
		29年	461	71		
		30年	394	84		
		元年	449	72		
		2年	469	81		
	5カ年平均	446	73			
3年見通し	420	75				
概要	高知、徳島、愛知、静岡等の国内物や輸入物が入荷する。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で輸入物の入荷は直前まで不明確。シンビジウムは全体的に遅れ気味だった分、入荷は増えてくる見込み。					
ばら	実績	28年	521	59		
		29年	567	74		
		30年	620	65		
		元年	524	76		
		2年	520	83		
	5カ年平均	550	71			
3年見通し	500	80				
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心の入荷となる。入荷量は少なめ。ブライダルは新型コロナウイルス感染症自粛の影響で、引き続き弱い引き合いとなる見込みで、成人の日や愛妻の日などの家庭需要に期待。					
枝もの	実績	28年	1,193	43		
		29年	1,252	46		
		30年	1,226	48		
		元年	1,187	48		
		2年	1,170	51		
	5カ年平均	1,206	47			
3年見通し	1,180	45				
概要	年明けから本格的に促成花木の入荷が始まる。新型コロナウイルス感染症の自粛で桜、雪柳、ボケ、こでまり、三州、レンギョウなど毎年高単価な物は苦しい販売となる。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 績	実 績	28年	13,786	222	
		29年	13,351	220	
		30年	12,475	191	
		元年	12,921	172	
		2年	9,553	208	
	5ヶ年平均		12,417	203	
	3年見通し		9,000	200	
力	概 要	<p>年々入荷量は減少傾向にある。山梨・新潟から年明けよりスズランエリカの出荷が始まるが、品薄が予想される。例年年明け初売りでやや引き合いは強くなるものの、月末になるにつれて相場は激しくなると思われる。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位山梨(31.0%)、2位新潟(25.7%)、3位長野(24.7%)となっている。</p>			
プ 績	実 績	28年	404,331	107	
		29年	486,315	93	
		30年	434,800	80	
		元年	390,400	95	
		2年	437,705	88	
	5ヶ年平均		430,710	93	
	3年見通し		430,000	88	
ラ	概 要	<p>入荷量は昨年より減少か。ジュリアン・ポリアンともに夏の暑さの影響でロスが多い。1月中旬からは昨年並みの出荷量があると見込まれるが、上旬は例年より少なめの出荷になる。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(42.7%)、2位埼玉(12.3%)、3位奈良(8.0%)となっている。</p>			
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	28年	55,348	233	
		29年	40,897	213	
		30年	31,700	224	
		元年	36,588	207	
		2年	34,845	209	
	5ヶ年平均		39,876	219	
	3年見通し		33,000	218	
力	概 要	<p>主要生産者が作付を減らしている為、入荷量は前年より減少の見込み。関東は4~5号、愛知は4号サイズが中心で、その他のサイズは年々減少。価格面では前年と大きく変わらない見込みだが、年々注文が減少している為、競売価格次第で変動する。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(34.9%)、2位愛知(24.5%)、3位茨城(19.9%)となっている。</p>			

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	28年	49,642	254	
		29年	53,709	242	
		30年	42,745	249	
		元年	44,420	279	
		2年	38,470	280	
	5ヶ年平均		45,797	260	
	3年見通し		37,000	276	
概要	<p>入荷量は前年より減か。秋頃の日照不足の影響か、年内出荷分においても開花の遅れが目立った。1月出荷分に関しても同様の遅れが出ると予想される。例年通り6号は埼玉、5号は埼玉・愛知・三重・東北産地、4号は愛知・三重を中心に入荷する。価格面は年々厳しくなっており、さらに成人式需要も減少傾向にある為、前年を下回ると予想される。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(29.9%)、2位愛知(22.0%)、3位香川(15.2%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	28年	36,992	192	
		29年	41,464	191	
		30年	35,941	179	
		元年	33,426	199	
		2年	37,423	198	
	5ヶ年平均		37,049	192	
	3年見通し		37,000	197	
概要	<p>入荷量は前年並か。価格推移は天候に左右されるが、年始売りの注文が多くなる見込み。単価は、4号中心に小鉢は中値安定で推移する見込み。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(25.8%)、2位静岡(22.2%)、3位愛知(14.8%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	28年	17,750	728	
		29年	19,651	679	
		30年	20,267	584	
		元年	19,042	651	
		2年	14,713	665	
	5ヶ年平均		18,285	659	
	3年見通し		14,000	679	
概要	<p>入荷量は前年並か。近年相場が厳しくなっており、作付けの多い5・6号は苦戦見込み。5号未滿、大鉢はまだ引き合いがある。前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(44.6%)、2位岡山(19.3%)、3位静岡(9.4%)となっている。</p>				





## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.571  
令和3年1月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434